

はぐくみ

支え合うまち・京都

ほほえみプラン

わかりやすい版

このわかりやすい版は、「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」の

かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが かんが
考え方や取組について、だれにでも内容が理解できるよう、

わかりやすくまとめて紹介するために作成しました。

作成の際には、漢字にルビをふるだけでなく、

むずか ことば ことば ことば ことば ことば ことば ことば ことば ことば
難しい言葉をわかりやすく言い換えたり、イラストも合わせて使用することで、

だれにでもわかりやすいものとなりました。



この計画について

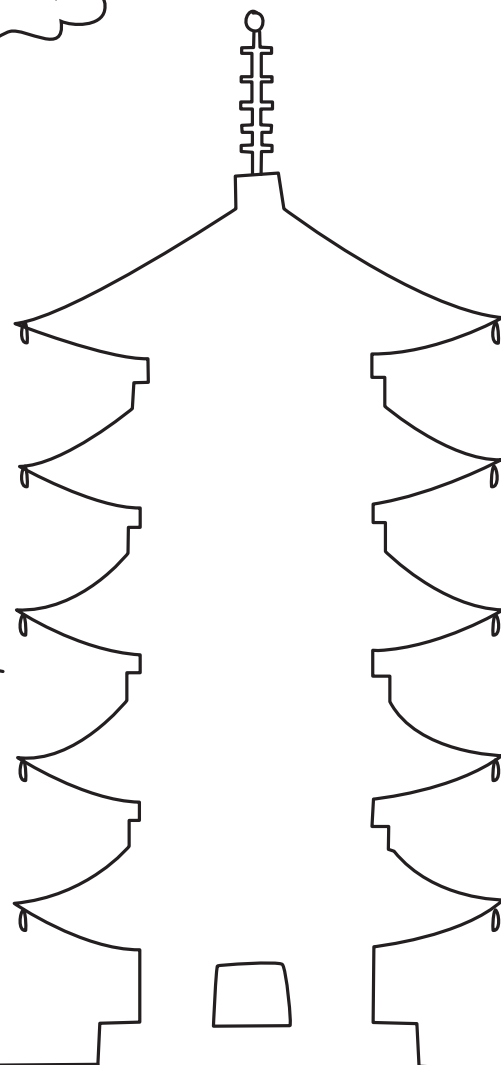
計画をつくった意味

- ➡ この計画は、障害のある人もない人もすべての人が、お互いをわかりあい、一緒に協力して暮らすことができる京都市をつくるために作りました。
- ➡ 「障害者差別解消法」という法律では、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害があることで差別することを禁止しています。
障害のある人から、社会の中で困っていることを伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応することも求められています。
- ➡ 京都市では、今まで、障害のある人を手助けするため、福祉サービスのこと、健康に暮らすこと、働くことなど、たくさんの取組を行ってきました。

この新しい計画をつくることで、すべての人が暮らしやすい京都市を目指します。

計画の期間

- ➡ この計画は、平成30年度（2018年度）から平成35年度（2023年度）までの6年間に取り組むことが書かれています。



この計画の考え方

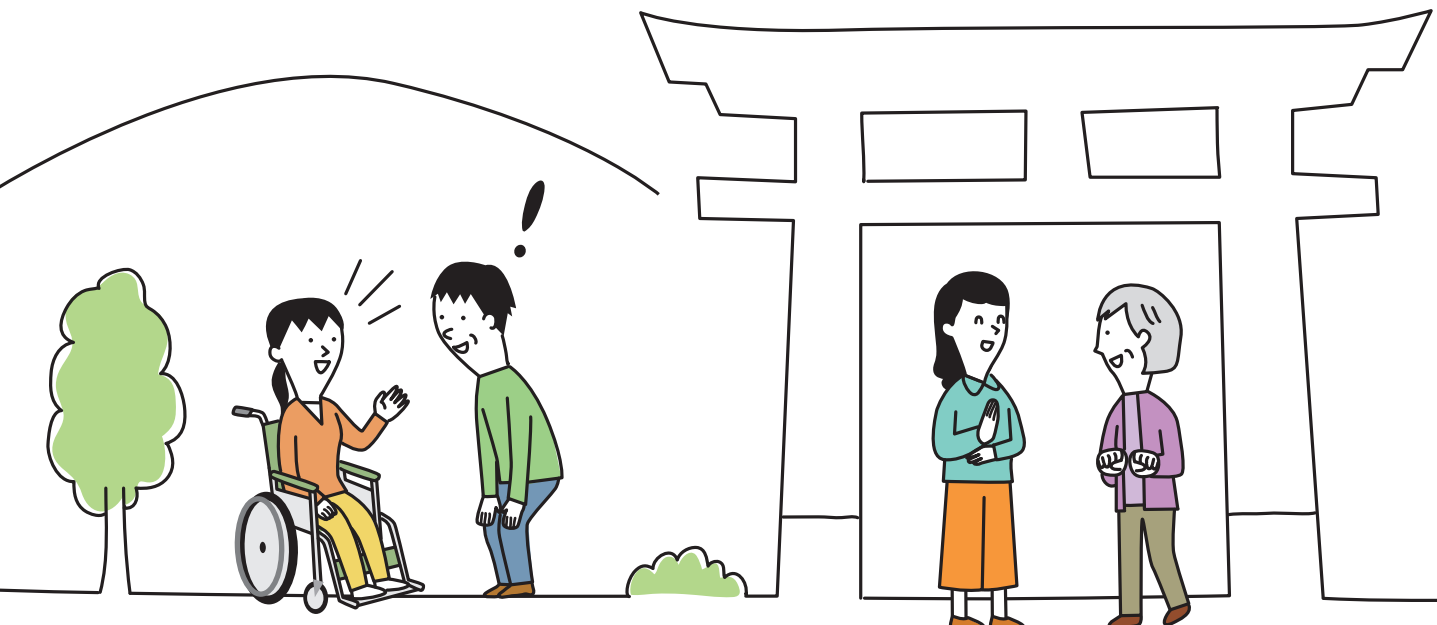
いちばんたいせつ 一番大切なこと

障害のある人もない人も、すべての人が
お互いをわかりあい、一緒に協力して
暮らすことができる京都市をみんなで
つくります。

けいかく とりくみ すず かんが かつ 計画の取組を進める考え方

このような京都市をつくるために、次の5つの
考え方に基づいて、取組を進めます。

- 1 障害のある人にわかりやすく情報を
伝えたり、障害についての正しい知識を
市民に広めたりして、障害のある人が
暮らしやすいまちをつくりまします。
- 2 障害のある人が、住み慣れた地域で、
自分らしく暮らすことができるようにします。
- 3 障害のある人が、安心して安全に
暮らすことができるようにします。
- 4 障害のある人が、「こんな生活をしたい」、
「働きたい」という思いや願いを
もてるようにします。
- 5 障害のある子どもたちが、
必要な手助けを受けながら、
障害のない子どもたちと一緒に学び
成長することができるようにします。



この計画で取り組むこと

① 障害のある人にわかりやすく情報を伝えたり、障害についての正しい知識を市民に広めたりして、障害のある人が暮らしやすいまちをつくれます。

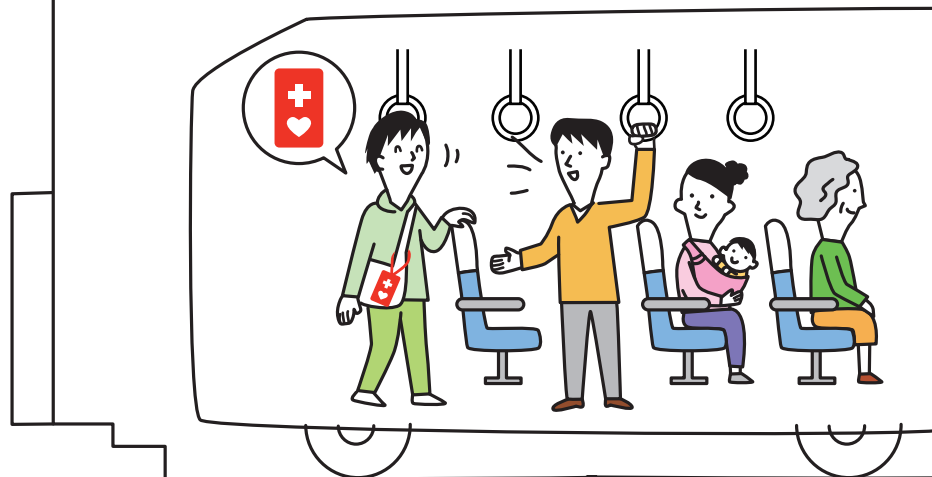
- ➡ 差別をなくす取組をもっと進めます。
- ➡ みなさんや家族が、困ったことを相談しやすくします。
- ➡ みなさんが情報を集めやすくする取組をもっと進めます。

② 障害のある人が、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるようにします。

- ➡ 福祉サービスの内容がもっと良くなるようにしていきます。
- ➡ みなさんが、自分らしく暮らせる手助けをします。
- ➡ みなさんが困ったときに、地域の人を手助けできる仕組みを考えます。

③ 障害のある人が、安心して安全に暮らすことができますようにします。

- ➡ 障害のもとになる病気やケガを防ぐ取組をします。
- ➡ ころの病気の人や家族の人の暮らしを手助けします。
- ➡ 難病の人や家族の人の暮らしを手助けします。
- ➡ 住むところや道路や建物を使いやすくしたり、電車やバスなどの乗り物を乗りやすくします。
- ➡ 地震や台風などの災害が起こったときに、みなさんに合った手助けができるように、日頃から準備をしておきます。
- ➡ いやなことを言われたり、無視されたり、たたかれるといった虐待をなくします。
- ➡ 自分で決めることが難しい人への手助けの取組をもっと進めます。



④ 障害のある人が、
「こんな生活をしたい」、「働きたい」
という思いや願いをもてるようにします。

➡ みなさんが、やりたいことを見つけ、
それを楽しむ手助けをします。

➡ みなさんが、芸術活動やスポーツを
楽しめるようにします。

➡ みなさんが、働くことができるように、
会社や市役所、地域の人みんなで
応援します。

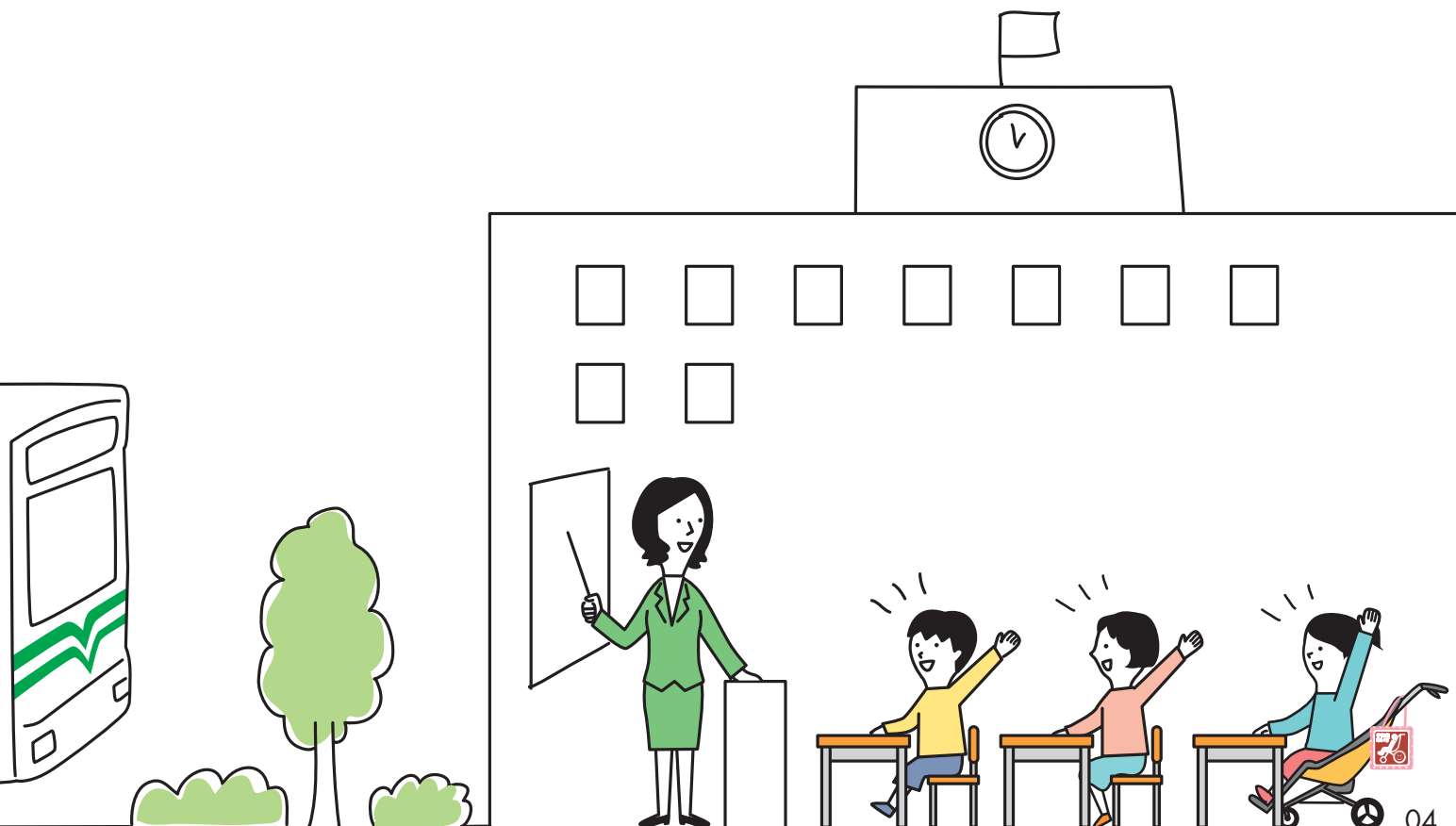
⑤ 障害のある子どもたちが、
必要な手助けを受けながら、
障害のない子どもたちと一緒に学び
成長することができるようにします。

➡ 専門の人たちが協力して、
障害のある子どもたちの手助けをします。

➡ 重い障害や病気になっている
子どもたちが、安心して生活できるように
取組を進めます。

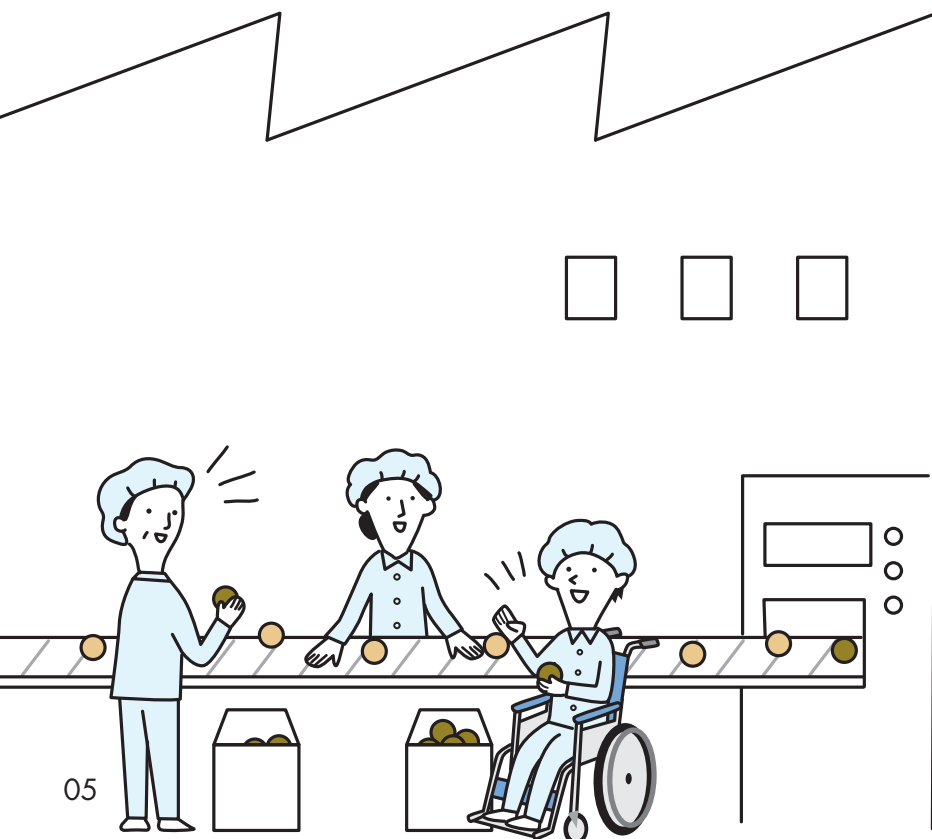
➡ 家の近くで子どものことを相談をしたり、
手助けを受けられるようにします。

➡ 障害のある子どもも、障害のない子どもも、
一緒に学び育つよう、学校や教育委員会、
市役所などが協力して取組をすすめます。



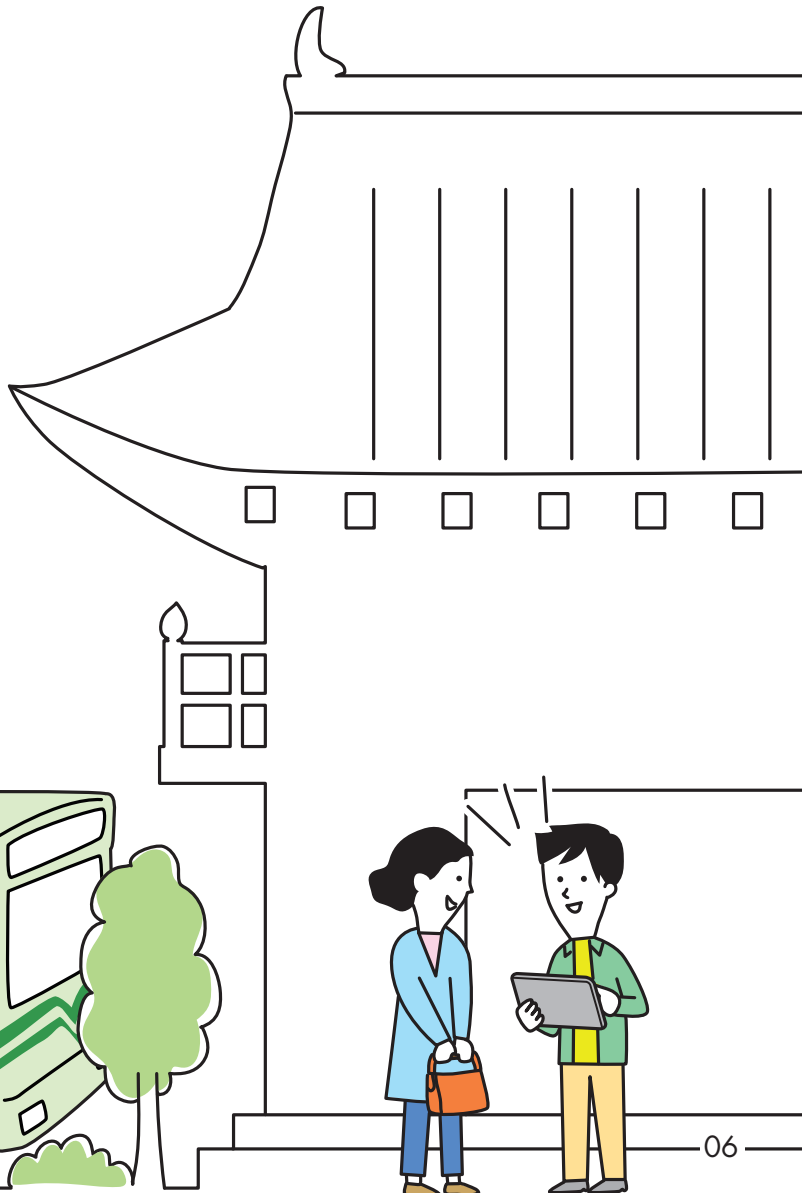
この計画の目標

平成32年度が終わるまでに達成する目標	今の様子	新しい目標
入所している施設から地域へ戻った人の数	14人	45人以上
精神障害のある人が短い期間で退院できる割合		
3ヶ月で退院できる割合	65%	69%以上
6ヶ月で退院できる割合	—	84%以上
1年で退院できる割合	91.8%	90%以上
一般の会社で働く障害のある人の数	162人	243人以上
重い障害や病気の子どもの通う場所の数	4箇所	4箇所以上
病気で手助けが必要な子どもを支えるための話し合いの場をつくる		



この計画を進めるために

この計画に書かれた取組を、きちんと
進めるために、市役所、障害者団体や、
福祉サービスをする人など、
いろいろな人が集まって、取組を点検します。



はぐくみ^{ささ あ}支え^{きょう と}合^{きょう と}う^{きょう と}ま^{きょう と}ち^{きょう と}・京^{きょう と}都^{きょう と} ほほえみ^{きょう と}プ^{きょう と}ラ^{きょう と}ン^{きょう と} わ^{きょう と}か^{きょう と}り^{きょう と}や^{きょう と}す^{きょう と}い^{きょう と}版^{きょう と}

きょう と し しょうがいしゃ し さくすいしんけいかく だい き しょうがいふく し けいかく だい き しょうがい じ ふく し けいかく
～京^{きょう と}都^{きょう と}市^{きょう と}障^{きょう と}害^{きょう と}者^{きょう と}施^{きょう と}策^{きょう と}推^{きょう と}進^{きょう と}計^{きょう と}画^{きょう と}・第^{きょう と}5^{きょう と}期^{きょう と}障^{きょう と}害^{きょう と}福^{きょう と}祉^{きょう と}計^{きょう と}画^{きょう と}・第^{きょう と}1^{きょう と}期^{きょう と}障^{きょう と}害^{きょう と}児^{きょう と}福^{きょう と}祉^{きょう と}計^{きょう と}画^{きょう と}～

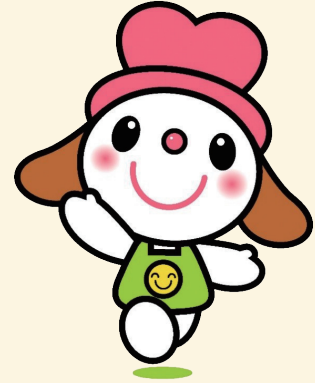
へいせい ねん ねん がつはっこう
平成^{へいせい}30^{ねん}年^{ねん}（2018^{ねん}年^{ねん}）3^が月^つ発^は行^っ

きょう と し ほ けんふく し きょくしょうがい ほ けんふく し すいしんしつ
京^{きょう と}都^{きょう と}市^{きょう と}保^ほ健^{けん}福^ふ祉^し局^{きょ} 障^し害^{がい}保^ほ健^{けん}福^ふ祉^し推^{すい}進^{しん}室^{しつ}

〒604-8006

きょう と し なかぎょう く かわらまちどおり おいけさが しもまる やちよう ばん ち わい じえい けい かい
京^{きょう と}都^{きょう と}市^{きょう と}中^{ちゆう}京^{けい}区^く河^か原^{わら}町^{ちゆう}通^{ちゆう}御^お池^い下^かる^か下^か丸^わ屋^え町^{ちゆう}394^{ばん}番^ち地^ち Y・J・K^{わい}ビ^{じえい}ル^{けい}3^{かい}階^{かい}

でんわ 電話 075-222-4161 電話 075-251-2940



ひろば
ほほえみ広場マスコットキャラクター
エミー

きょう と し こ わかもの きょくこ わかもの みらいぶ こ かていしえんか
京^{きょう と}都^{きょう と}市^{きょう と}子^こども^{ども}若^{わか}者^{もの}は^はぐ^ぐく^くみ^み局^{きょ}子^こども^{ども}若^{わか}者^{もの}未^み来^{らい}部^ぶ子^こども^{ども}家^か庭^{てい}支^し援^{えん}課^か

〒604-8171

きょう と し なかぎょう く からすまどおり おいけさが とら やちよう ばん ち
京^{きょう と}都^{きょう と}市^{きょう と}中^{ちゆう}京^{けい}区^く烏^う丸^わ通^{ちゆう}御^お池^い下^かる^か虎^こ屋^え町^{ちゆう}566^{ばん}番^ち地^ち1

いもんめいじ やすだ せいめい かい
井^い門^{もん}明^{めい}治^じ安^あ田^だ生^{せい}命^{めい}ビ^びル^る2^{かい}階^{かい}

でんわ 電話 075-746-7625 電話 075-251-1133

きょう と し いんさつぶつ だい ごう
京^{きょう と}都^{きょう と}市^{きょう と}印^{いん}刷^{さつ}物^{ぶつ} 第^{だい}293247^{ごう}号^{ごう}



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

